

平成26年5月16日開催 県政ティーミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成26年5月16日（金） 15：00～16：00
- ・会場 諏訪市 ホテル若菜
- ・参加グループ すわ姫会
- ・懇談内容『地域の魅力発信と観光振興 ～受け手の立場に立った「おもてなし」～』

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1)「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～」について

(ご意見の概要)

- ・ 2階のキッチンスペースのレストランメニューが飽きられないように、期間限定で地域特別メニューを提供するような考えはあるか。またオープニングで機会があれば街頭チラシ配布等、是非協力したい。

(知事の発言)

- ・ 2階を恒常的なレストランにするのではなく、イベントの時に物を出せるようにしたい。3階は県関係の飲食店になるので、そこと連携して諏訪の物を置くような方法は可能だと思う。また、オープニングに関しては是非協力してもらいたい。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 2階のキッチン付イベントスペースは、地域の特徴ある食材を使った料理を味わえるイベントの実施ができるようになっております。また、3階に入居しているの県ゆかりの飲食店において、銀座NAGANOのプロモーションと連携したメニューの提供をお願いするなどの取組を行っております。

【担当課：観光部信州ブランド推進室】

(2)「おもてなし」について

(ご意見の概要)

- ・ 「おもてなし」について全国の自治体に取り組んでいる。長野でもブランド力を高めることができるといいが、一つの市だけでは力が弱い。県を挙げて統一して取り組むべき。

(知事の発言)

- ・ 県では「おもてなし宣言」をやっているが、それだけでは私も弱いと思う。県だけで実施しても仕方がないので、県と民間が一緒にやらなくてはいけない。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 県では、県民の皆さまのおもてなし向上による顧客満足度の向上とリピーターの増加を図るため、平成25年11月に「日本一のおもてなし県」を目指す「ずく出し！知恵出し！おもてなし」プロジェクトをスタートしました。「おもてなし」が本県の観光の新たな強みとなるように、引き続き県民や団体の皆さまのご参画をいただき、「おもてなし」を推進する県民運動を展開し、「おもてなし」実践リーダーの育成などを行うとともに、県民の皆さまからアイデアやご意見をいただき、具体的な取組を皆さまと一緒にまいります。

【担当課：観光部観光誘客課】

(3) 諏訪湖の浄化と「泳げる諏訪湖」について

(ご意見の概要)

- ・ 諏訪を発展させるにはきれいな諏訪湖でお迎えする必要がある。当会は湖上のゴミ拾い等を積極的に行っている。

(知事の発言)

- ・ 諏訪湖の水質をなんとかしたいと考えている。「泳げる諏訪湖」にするにはどうしたらいいか一緒に考えてもらいたい。全部一度にきれいにするのは難しいかもしれないが、エリアを区切って浄化できたらと思う。また、泳ぐことができるのであれば、水浴場のような場所を設けるのも一つの方法である。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 諏訪湖については、水辺整備マスタープランにより、環境、親水、レクリエーションなどのテーマを定めた湖周整備が行われており、特に石彫公園付近は、親水性に配慮した水辺や芝生広場などが整備され、水遊び等に利用できる環境となっております。今後も住民の皆様と連携した総合的な浄化対策を一層推進することにより、第6期諏訪湖水質保全計画で掲げる長期ビジョンの一つである「人々が集い、恵みや潤い、やすらぎを与える美しい水辺空間の創出」を実現するため、まずは親子で貝採りができる諏訪湖、誰もが泳ぎたくなる諏訪湖を目指して取り組んでまいります。

【担当課：環境部水大気環境課、建設部河川課】

(4) 信州の花の活用について

(ご意見の概要)

- ・ 海外の観光客にとって、日本には桜などの花のブランド力があるが、どうしても日光や仙台のイメージが強い。しかし、長野の桜や花も負けてはいない。それをどう発信していくかが課題である。

(知事の発言)

- ・ 長野は花の生産量も多く、桜をはじめとした季節の花が美しい。しかし、長野は山のイメージは強いが花のイメージは薄い。そのため知事会見でも定期的に花の話をしている。また、東京オリンピックのビクトリーブーケに長野の花を使ってもらえるよう売り込みをかけたい。またシェアスペースでも花を取り上げたい。生産している花をもっと売り込むため、春夏秋冬の花をもっと発信したい。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 県産の切り花、鉢花については、「旬の花」の情報発信をプレスリリースや知事会見で行っているほか、花きの生産、流通、販売に係る関係者が連携して、小学校でのフラワーアレンジメント、生け花の体験授業の実施や、銀座NAGANOや商業施設等での展示PR、さらには県内情報誌との共同企画により、花き産地の紹介記事を毎月連載しております。今後とも、銀座NAGANOの活用をはじめ、より効果的な展示PRに取り組むことにより、県産花きの優れた特性や価値を多くの皆様に向けて発信してまいります。また、東京オリンピックを、県産花きのPR機会と捉え、ビクトリーブーケ等への花材供給を組織委員会に提案してまいります。

【担当課：農政部園芸畜産課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp